

キューバ④

馬車と人力車が走る街

白道のカミーノノ便り

シンポジウムの会場となっているカマグエイ市は、見た限り「地球の歩き方」に1ページの紹介も掲載されていないが、キューバでは5本の指に入る大きな都市であるらしい。

しかし、観光客がひしめく首都ハバナとのあまりの違いに驚く。「ハバナを見てキューバを見たと言ふな」と言いたい。カマグエイでは、バスの代わりに馬車が走っている。タクシーの代わりに人力車である。

馬車はほぼ決まったルートを走



キューバ・カマグエイを走る馬車＝ベアトリーチェさん撮影

り、道路は馬ふんが散乱している。よく見ると、馬ふんが落ちないように大きな布が馬の尻についているが、なんせ馬車の数が多いので、こぼれる馬ふんも多い。

私たちが歩くと、いつの間にかケンケンパで遊んでいるような歩き方になる。馬は疲れるし餌も食べなければならぬので、夕暮れには馬車は一斉に消えてしまう。

人力車は、自転車みたいな部分が古いのでなかなか進まない。2人も後ろに座ると重すぎるのか、運転手の後ろ姿がたらそうで気の毒になる。しかもチェーンがしょっちゅう外れる。

試しにこがせてもらったが、手に負えなかった。地元の人が飲むビールを運転手におごってもらった。カラカラに渴いたのどに慈雨であった。

2010年には車が増えて少し様変わりしていたけれど、06年当時は馬車と人力車と自転車ばかりで、街はとても静かだった。究極のエコロジーの姿がそこにあった。(つづく)